

大会宣言(案)

民主党千葉県総支部連合会は、本日、第16回定期大会を開催し、昨年1年間の活動を総括し、今年度の活動に向けて、全党一丸となって取り組むための方針を決定しました。

一昨年の衆議院総選挙の敗北に続き、昨年の参議院選挙でも大きな敗北を喫し、党の改革・再生の取組みが充分成果を上げていないことが示されました。民主党への信頼回復に向けて、もう一度原点に立ち返り、県民・有権者の声を真摯に聞いて歩くことから再出発しなければなりません。

与党の絶対多数を背景に安倍政権は、特定秘密保護法や靖国参拝の強行にみられるように、暴走を始めたと言わざるを得ません。アベノミクスによる景気回復は中小企業や庶民レベルには恩恵は少なく、格差は拡大しているのが現状です。民主党政権で足がかりを作った格差縮小、少子高齢化対策、地域主権改革、財政の健全化などの改革の方向性を後退させず、改革を進めるため、身を切る覚悟で取り組んでまいります。

今年は野田市、松戸市、八千代市などで市議会議員選挙があり、来年には統一地方選挙が迫っています。民主党の真価が問われる選挙になります。今年の中間地方選挙から来年の統一地方選挙に向けて、県連の総力を挙げて取り組む決意を確認し合いたいと思います。そして、党の改革・再生と、県民・市民のいのちと暮らしを守る取組みに全力を挙げることをここに宣言いたします。

2014年2月15日

民主党千葉県総支部連合会第16回定期大会